

平成29年度 まちづくり懇談会での要望等に対する回答

No.	項目	要望内容	回答者 回答内容	担当課	現在の状況並びに対応方針等
1	①暮らし	町長は、川崎町をどのような町にしたいのか伺いたい。	■町長 まちづくりには、職員の接遇や勉強が大切。町民と共に様々な課題を解決していく。町の事業は、出来るだけ補助金を活用し、支出の抑制を図っていく。子育て支援を充実することで、川崎町に安心して居住し、仕事に行ってもらえる体制を整備している。企業を誘致しても川崎町も人手不足の状況である。川崎町で安心して子育てをしていただき、仕事は仙台市等に十分通勤できるため、国道286号バイパス整備の早期完成を訴えながら、まちづくりを行っていく。	地域振興課	町長回答のとおり。
2	①暮らし	公債費の比率が近隣市町に比べて低いのは良いが、事業を絞っているのではないのか？	■町長 借金が多いと返済に迫られる。国の助成がある政策を探して使う。震災後は復旧工事がほとんどで落ち着いてきたところで住宅建設に着工した。次世代に借金を残さない。	総務課	人口減少などで地方交付税が減少傾向にあり、ますます財政状況が厳しくなる。必要な事業は、国の補助金など、財源を確保したうえで事業を実施している。常に事業を精査しながら財政運営をしている。
3	①暮らし	プレミアム商品券先行販売について、一人暮らしの人ではなく75歳のいる家庭に配布するのか。	■地域振興課長 平日に町民バスを利用して購入できるよう先行販売という形で、75歳以上の高齢者世帯（単身も含む）を対象に88世帯から申込があった。	地域振興課	今後も商工会と連携し地域商店街の活性化と町民の利便性等の向上を図るため、内容を検討しながら継続して実施していきたい。
4	①暮らし	固定資産税は、来年度から国調課税にすることだが、中身について教えてほしい。 ※国調課税とは：地価調査で確定した面積で課税すること。	■税務課長 平成30年4月から国調課税を行うということで、今年の11月に税務課より国調課税の通知を全納税者に通知した。	税務課	税務課長回答のとおり
5	①暮らし	滞納への対応は、かなり努力されていると思う。今後とも気を抜かず、職員の方に取り組んでもらいたい。	■町長 滞納のあるところには、副町長、課長、補佐が先頭に立つよう指示をだした。今後とも力を入れていきたい。	税務課	町長回答のとおり。
6	①暮らし	国民年金受給額で入所できる老人ホームを設置して欲しい。	■保健福祉課長 老人ホームの設置については、設置すれば施設に支払う療養費が増加し、増加した分は介護保険料に跳ね返ってくるため、町は老人ホームを設置しない方針をとっている。また、介護保険料基準額の順位は、県内5番目である。過去、県内1位の時があった。	保健福祉課	介護保険入所施設を設置することは計画していない。 低所得者向けの施設として軽費老人ホームや養護老人ホームがあるため、被保険者の心身の状況によりそれらの施設利用についても周知を図っていく。
7	①暮らし	公民館の空調設備を設置してほしい。ゲートボールの人たちが利用するトイレとして、分館の屋外にトイレを設置してほしい。	■町長 町内には22の行政区があって、そこに集会所があるので、どのようにしたら良いか、議会と相談しながら検討する。	生涯学習課	現地調査と、分館の利用状況などを考慮し検討したい。
8	①暮らし	川崎病院裏の川の公園は、もう少し面積を増やしたり、安全面等整備したりすれば、素晴らしい憩いの場になると思う。	■副町長 河川敷として県が整備している。県へ要望するなどして検討していきたい。	保健福祉課 建設水道課	河川公園面積の拡大、安全面等の施設整備は、利用状況も考慮して県への要望を検討していきたい。
9	①暮らし・安全	北朝鮮からのミサイル発射や蔵王山の噴火等、有事や災害発生時の町民への連絡体制はどうなっているのか。	■総務課長 瞬時警報システムは構築されているが、町内全域への整備はされていない。ラジオ等からの情報が最も早く、かつ確実であるためそれらの情報を基に行動してもらえないのが実情である。	総務課	緊急連絡時の対応について、町ではエリアメールの配信や、テレビの字幕放送、広報車による広報や各地区消防団及び自主防災組織による連絡手段を考えている。
10	①暮らし・安全	災害に備え、高齢者にも分かり易いように(情報の伝達方法等)一本化する等、計画的に進めていくべきではないか。	■総務課長 大雨、地震、火山、北朝鮮を含め、防災への対応が複雑になってきている。雨シーズンでもあり、九州の大雨を見ると町も早めの周知をするべきだろうと考えている。周知方法は行政区長も含めているような方法がある。消防団も含め早めの対応することを検討している。また、FMラジオ等を利用しての対策も検討しているが、それらの伝達手段の活用については住民にも分かり易いようにチラシ等で説明していきたい。	総務課	緊急連絡時の対応は、エリアメールの配信や、テレビの字幕放送、広報車による広報や各地区消防団及び自主防災組織による連絡を考えている。 高齢者等には分かりづらいつらいつらとことなので、高齢者世帯には災害時にどのように行動すればいいのか、分かり易く読みやすい防災チラシ等を作成して周知に努める。
11	①暮らし・安全	学校の教室などの一部が避難所になった際に、必要な飲料水・食糧・毛布などの備蓄室に使用できないか？	■総務課長 避難所で使う備蓄品については川中の空き教室と役場の備蓄倉庫に保管している。	総務課 学務課	自主防災組織の活動や、町の防災計画等も考慮しながら検討していきたい。
12	①暮らし・安全	一日も早く街路灯のLED化を。	■総務課長 スズラン型街路灯は、遅くとも9月まで、できれば8月中に更新したい。今明かりがついているものだけ随時更新中。更新費用は1灯当たり6~7万円。電気代は1/3。	総務課	平成29年度においてLED球への更新工事を実施しており当初計画分については9月末で完了。

13	①暮らし・安全	街路灯の点検を願う。また、被害があった場合補償は誰がするのか。	■総務課長 今年1～2月で業者に委託して点検を行った。悪かったのは、1～3か所。財産としては商工会(設置者)。防犯灯は町で設置して、電気料を行政区で負担してもらっている。スズラン型の街路灯は、商工会が行政区のもの。	総務課	町において打診、触診、視診による点検を実施したが、あくまで街路灯の所有者は各行政区なので、維持管理及び補償等については各行政区が担うものと考えている。
14	①暮らし・安全	街路灯や防犯灯の電気料及び維持管理費用について町でやっていけないか検討してほしい。 用水路の改修整備の際は事業費の10%を受益者負担金として負担しているが、防火用水も兼ねていることから負担金の見直しを検討してほしい。	■副町長 街路灯の電気料等についてはLED整備の際に検討したが、町の予算も限られていることから電気料・維持管理料は従来どおりということに関係区長に説明し了解を得ている。今回再度要望があったことから再度検討していく。	総務課 農林課	行政区による電気代負担を前提で設置要望に応じてきた経緯がある。そのことを考慮すれば、町が電気代を負担することは町の財政的な面や、地域間における偏りもあることから難しいものとする。 現段階で、水路改修に伴う受益者負担金の見直しは考えていない。
15	①暮らし・安全	碁石地区の既存防火水槽について、取水口が土砂で詰まり水が入ってこない。	■総務課長 現地を確認し対応する。	総務課	現場の状況を確認し、修繕するか移設するか検討する。
16	①暮らし・生きがい	シルバー人材センターはどうなった。 状況は随時広報等で知らせてほしい。仙南で無いのは蔵王・川崎。大河原では25年前からある。	■町長 導入するにあたり、調査するよう指示した。いろいろな町の状況を調査すると、導入してからも、かなりの経費がかかるようである。 ■副町長 現在アンケート調査中。仕事をする高齢者が何人いるか。仕事をする登録者の目標は150人。第2段階として、仕事を依頼する方は何人いるかについて調査中。センターの立ち上げには人件費がかかる。実施する場合は、国から補助金を受けて実施することを考えている。国から補助金を受けるとなると制約が出てくる。各種見極めたうえで立ち上げの可否を決定する。	保健福祉課	現在、仕事をする会員向け(従事者:60歳～75歳)アンケートは終了し、仕事の量や種類を把握するためのアンケートを実施中。終了次第立ち上げの可否を検討する。
17	①暮らし・農業	長年やってきた転作事業がH30になくなるが、なくなった後の農家の支援はどのように考えるのか。農家にとっては死活問題になると思うので町は腰を据えて考えてほしい。	■農林課 米の生産者に交付してきた直接支払交付金が今年で時限立法の期限が切れるためなくなる。転作奨励金は、今後も確保していくと農政局では話をしている。直接支払交付金はなくなるが、国ではこの財源を農業の枠の中で活用するようである。とも補償事業については、農協で制度のありかたについて検討している。	農林課	回答のとおりであるが、今後、各地域を回って平成30年度以降の農業政策に関する説明会を開催していきたい。
18	①暮らし・有害鳥獣	サル・猪などの出没により野菜が荒らされているが、町の対応はどうなっているか。	■農林課長 人的被害が出る熊・猪は、人命にも関わるため、猟友会の協力を得て迅速な対応ができる連絡体制をとっている。それ以外については、自己防衛が大切になる。 電気柵等の設置費用を助成したり、罠をかけて捕獲したりしている。	農林課	農林課長回答のとおり。
19	①暮らし・有害鳥獣	ふるさと納税返礼品について、もったいないので解体したイノシシの肉はどうだろうか。	■農林課長 栗原地区で放射能が高い値が出ている。川崎町では40ベクレル以下だが、宮城県で抽出したものが1頭でも高い値が出れば出荷はできない。	地域振興課 農林課	委託業者を増やしたり返礼品を増やしたりしながら、より多くの方に川崎町を応援していただくことができるよう常に検討している。川崎町をPRする有力な手段として引き続き活用していく。
20	②子育て	誕生祝金は、一律(30万円)にしたらどうか。また、小・中学校の通学路整備をお願いしたい。	■町長 国では少子高齢化を止められない。都会より田舎に人を呼び込む国からの補助金がある。昔のように、道路の整備や土地改良にはあまり補助金は来ない。そこで、国ではインバウンド・外国人旅行者を呼び込むための補助金がある。というのも、人口減少は止められないから、交流人口を活発にして人の流れをつくり地域の活性化を目指す。	保健福祉課	誕生祝金の支給実績は、平成27年度が36人、平成28年度が45人であり、その全員に30万を支給するとなると、年間予算が1千万超となる。現在の財政状況を考えると、実現は難しい。
				建設水道課 学務課	用地等の制約により、規格どりの道路整備は困難な状況である。交通安全施設(反射鏡、車線分離標、路面標示、注意看板等)を年次計画により実施し、歩行者の安全を図る。
21	③道路	仙台市長が新しくなり、国道286号バイパス計画など、計画や進捗に影響があるのか心配である。町として新しい市長との関わりはどうか。	■町長 議会ともどもバイパス早期完成を願って、県や仙台市に働きかけていきたい。	建設水道課	町長回答のとおり。

22	③道路	町道沿いの側溝のフタは、町が直すのか、個人負担なのか。コンクリートが壊れてポロポロになって危ない箇所もある。	■建設水道課長 町が直したり、個人が直したりといろいろなケースがある。現場を確認して、個人で直せる部分なのか、フタだけ準備すれば解決するのか、職員が点検を実施して判断したいと思う。	建設水道課	7/31現地確認済み。 側溝蓋及び本体が経年劣化により破損し、補修延長もあることから、年次計画にて補修することで了解を得た。
23	③道路	シシナゴ橋から古関にかけて歩道を整備してもらったが、シシナゴ橋に歩道がない。危険なので早急に対応するよう土木事務所に掛け合ってほしい。	■建設水道課長 シシナゴ橋の歩道は、既に県で発注済み。釣り堀りもあることから調整しながら、県では年内に完成させたいと言っている。	建設水道課	H29.8工事契約を締結し、11月30日現在の進捗率は10%程度。
24	③水道	昨年も本砂金浄水場の改修工事をお願いした。根本的な解決として水源をかえるとか思い切ったことが必要ではないか。	■建設水道課長 昨年の8月に取水から本流にかけて検査した結果、飲料水としては問題なかった。他地域の状況もあるため、本管の改修は平成33年度から実施予定。漏水の多い地区は、一部本管の敷設替えを考えている。取水を変えるにあたり、水利権関係などの事務的な部分について、いま動いているところ。 本管の敷設替えよりも先に取水を変えたいと考えているので、今年度は必要となる様々な部分を調査したところ。来年度水道の変更許可申請でお金がかかるので、変更許可をするための委託料として設計など、変更許可申請にあたっての委託を30年度に予算化し、申請手続きをしてから2ヶ月くらい認可になるまでかかるそうなので、出来れば早めに申請して来年度中に工事に入れればと思っている。	建設水道課	建設水道課長回答のとおり。
25	③水路	用水路の維持管理が大変。農業・消防、共同で利用している。町にも援助して欲しい。	■町長 国では少子高齢化を止められない。都会より田舎に人を呼び込む国からの補助金がある。昔のように、道路の整備や土地改良にはあまり補助金は来ない。そこで、国ではインバウンド・外国人旅行者を呼び込むための補助金がある。というのも、人口減少は止められないから、交流人口を活発にして人の流れをつくり地域の活性化を目指す。	総務課 農林課	これまでに整備費や修繕費等を拠出している状況なので、維持管理費についてはあくまで各地区にお願いしたいと考えている。
26	④観光	アラバキやマラソン大会などで町外から多くの人がある。お金が町に入るよう商工会に頑張ってもらいたい。	■地域振興課長 マラソン大会などのイベントは、「おもてなし」をするいい機会と捉えている。商工会だけではなく観光協会にも働きかけて、今後打合せしていきたい。	地域振興課	地域振興課長回答のとおり。
27	④観光	マラソン大会で、美しい蔵王、釜房湖の眺め、全国から来るといって、それだけ見て終わりか？ ●町長 町以外から補助してもらえらるお金はいくらか？	■生涯学習課長 観光振興につなげるため、そばを振る舞ったり、入浴券を配付したりした。 ■町長 そういったお金を出してもらい、町内の企業からも協賛金を頂いて企画しているところ。マラソン大会もスキー場も小学校の廃校の利用も町外から来てもらって川崎町をみてもらい町民の人と接してもらって、町を理解してもらおう。ひいては空き家バンクなども利用してもらって住んでもらう。	生涯学習課	マラソン大会を通して町の良さやおもてなしをアピールするとともに、交流人口を増やすなど町の活性化につなげていきたい。
28	④観光	特産センターの2階が震災で損壊している。修繕して活用できないか。また、道の駅構想はないのか。	■町長 「あだこだ」を活用した道の駅整備の意見があり、みちのく公園と勉強会を開催しているところ。これらの意見等を勘案して検討していきたいと考えている。	地域振興課	町長回答のとおり。
29	④観光	1年中スキーができるのは良いが、冬場赤字で、夏場は黒字になるのか？ またそれについて不安はないのか？	■町長 1年中、川崎町に来てくれる人を確保していく。予算をかけても、新たな事業展開の可能性があるので導入を決めた。	地域振興課	町長回答のとおり。
30	④観光	今までセントメリースキー場に設備投資を行ってきたが、いつまで続けるのか？	■町長 近年の雪不足では、冬期間の運営だけでは経営ができないため、一年中滑走が楽しめる環境を整備した。今後10年間で成果が見込めない場合は、閉鎖も検討しなければならない。	地域振興課	町長回答のとおり。
31	④観光	観光資源として、大型の水車ではなく、用水路に設置出来る小型の水車を連続で設置し、川崎町を水車の町にしてはどうか。	■町長 1つの案として伺う。	地域振興課	町長回答のとおり。

32	⑤地方創生	地域おこし協力隊による「スプリング」の運営と、尚綱学院大学との協定は素晴らしい取り組みとを感じる。 この2事業についてのPRを是非お願いしたい。	■学務課長 尚綱学院大学との交流については、支倉常長まつりへの参加、また、川崎小の児童を対象としてカヌー体験等を学生と一緒に活動するサマーセカンドスクールを夏休み期間中に計画している。引き続き、お互いどのような活動・交流ができるかを検討しながら充実させていきたい。	地域振興課	それぞれの事業を発展させながら、事業や事業に関わる人々・団体が連携できるような仕掛けをつくり出していきたい。
33	⑥病院	川崎病院の待ち時間が長い、もう少し早くならないか。	■事務長 症状を診て緊急性を医師や看護師が判断し対応していることをご理解願う。なお、可能な限り改善していく。	病院	外来診療の予約制導入や医事会計システムの改良など、待ち時間の短縮に向けた取り組みを行ってきた。外来看護師による待ち時間の説明を行うなどして、待ち時間に係る苛立ち・不安の解消に努めていく。
34	⑥病院	川崎病院に外科の先生はいないが。	■事務長 外科の先生の必要性は病院内でも話し合いをしている。しかし、外科の先生の確保自体が難しい状況。今の先生方は、内科は内科というように専門性に特化している先生が多く、オールマイティーに何でもこなす先生はなかなかいないのが現状。 ■町長 やれる範囲の中で、内科医を中心に、それなりのベッドを導入したり、川崎町で出来る範囲で向上する努力をしていったりしていきたい。待ち時間を少しでも短くなるよう事務長と話し合っ直していく。	病院	外科医の採用は困難な状況である。怪我の状態によっては、他病院への紹介になるなど不便をかけることもあると思うが、可能な範囲で当院の医師が対応させていただく。
35	⑥病院	病院の会計の場所に、杖を置く棚か何かあればいい。石井モータース近くの舗装道路は、大型や町民バスも通行するが狭くて困難。	■町長 大きい病院などを見してみる。 道路については現場を確認して対応。	病院 建設水道課	杖置き金具を受付カウンターと診察室に設置した。また、手荷物を置く台を受付カウンターの下に設置した。 なお、県道と町道との交差点の隅切り工事は11月18日に完了している。